

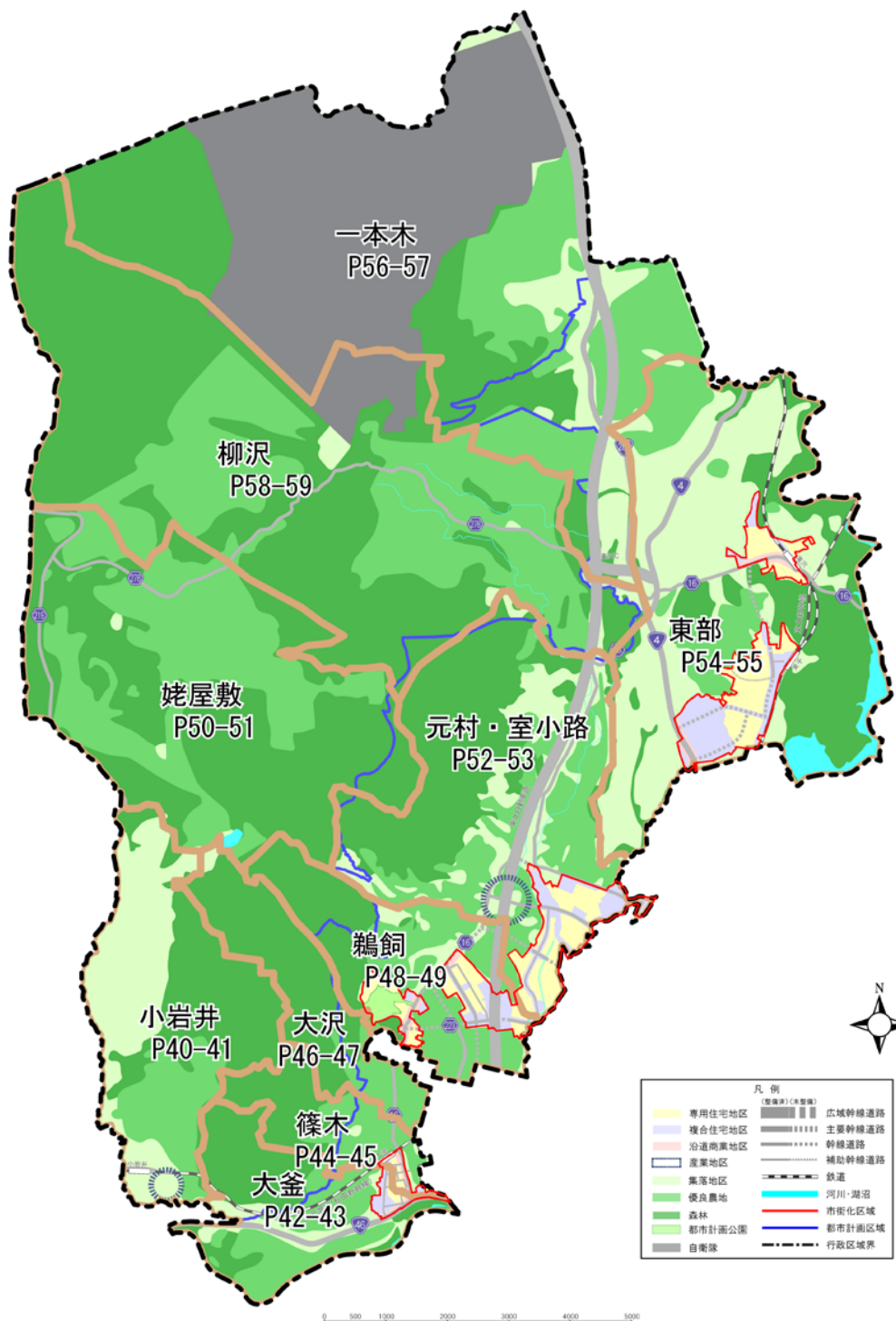
5. 地域別構想の設定

地域毎の「都市づくりのテーマ」「地域整備方針」「都市づくりの進め方」について整理しました。

地域分けは第1次滝沢市総合計画の地域別計画にならっていますが、元村地域と室小路地域については土地利用の観点から一体的な整備方針とすべきと判断したため、10地域としました。

なお、第1次滝沢市総合計画の地域別計画の作成と協調し、各地区における地域住民との懇談会により地域の思いも盛り込んだ構想となっているため、対応できるものから市あるいは市と地域住民が協働し、実現化を目指します。

▼ 図 地域区分図



5-1. 小岩井地域

都市づくりのテーマ

水よく、風よく、情けよく、牧歌情緒漂う 小岩井

【地域整備方針】

豊かな農地や岩手山麓の雄大な自然を保全するとともに、盛岡西リサーチパークなどの産業振興や地域生活の利便性の向上を図ります。駅を中心に人が快適に交流し、生活できるように、都市計画制度の適用も検討します。

■土地利用の基本方針

- ・農地や森林の保全を図ります。
- ・盛岡西リサーチパークや農工団地と、周辺の住環境が調和した土地利用を図ります。
- ・今後の市街化動向を判断し、必要に応じて都市計画制度の適用も検討します。

■交通体系整備の基本方針

- ・地域内道路網の整備、小岩井駅や国道46号へのアクセス向上など、広域的な産業拠点の形成を図ります。

■都市施設整備の基本方針

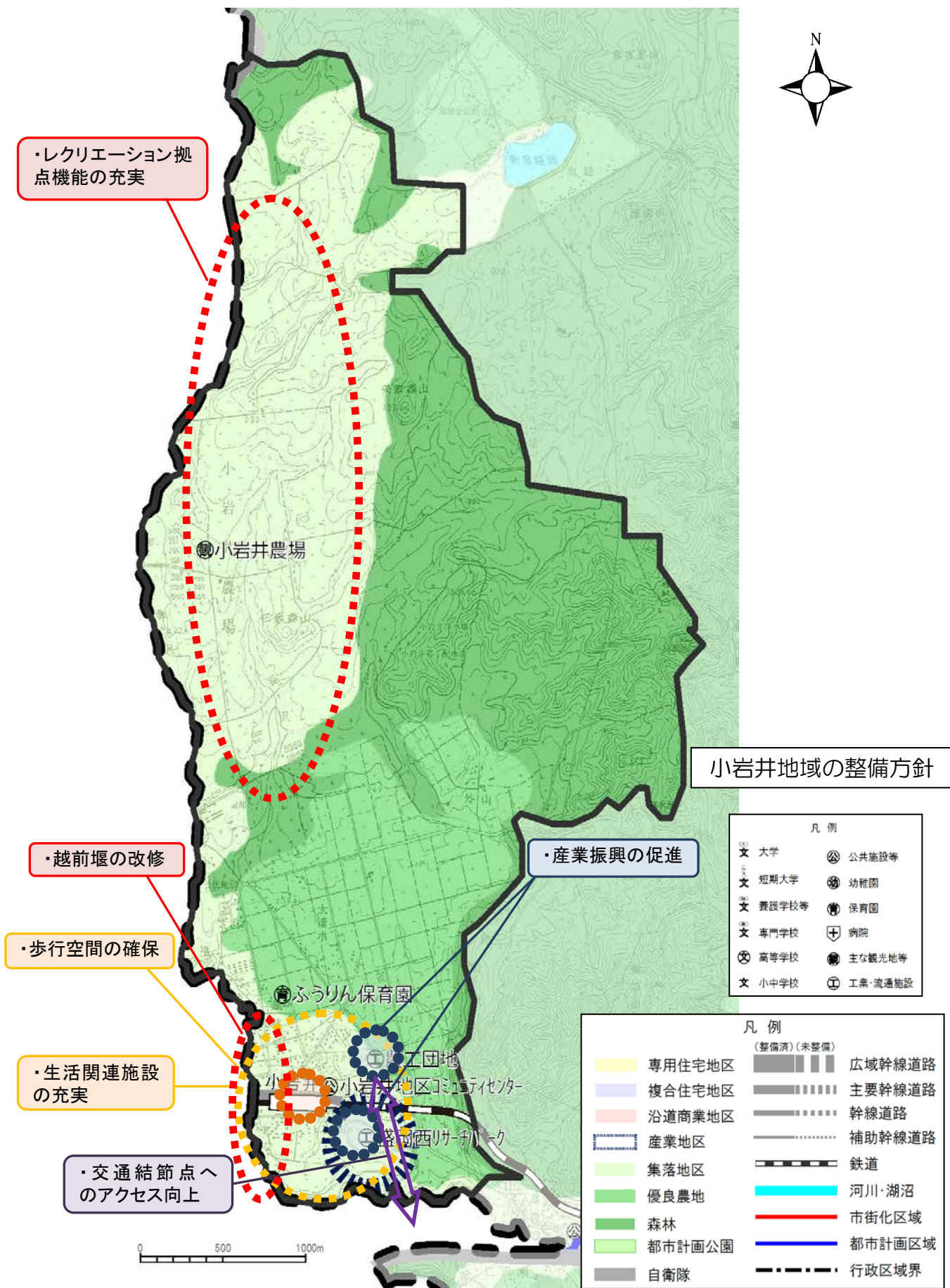
- ・通勤通学等による鉄道利用者が多いことから、歩行空間の確保など、交通安全施設の充実を図ります。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・越前堰の改修を推進します。
- ・岩手山を望む良好な景観や集団農地、農場などが連携したレクリエーション機能の充実を図ります。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・新築住宅戸数も比較的多いことから、交通結節拠点である小岩井駅を中心に身近な店舗など生活関連施設の充実を図ります。
- ・汚水処理施設の整備を推進します。



5-2. 大釜地域

都市づくりのテーマ

みんなで創るふれあいと活気あるまち 大釜

【地域整備方針】

国道 46 号が地域内を通っており、盛岡市内と結んでいる立地を生かし、日常的な生活サービスを提供する商業や流通などの産業振興を図ります。大釜駅を中心にして生活利便性の向上を図ります。

■土地利用の基本方針

- ・身近な店舗や商店の充実が求められており、駅周辺への日常的な生活サービスを提供する商業機能の向上を図ります。
- ・国道 46 号沿線について、開発許可制度等の運用等による沿道サービスなどの有効活用を図ります。

■交通体系整備の基本方針

- ・通勤通学や高齢者等の移動手段の確保のため、バス交通の路線網・ダイヤの見直し等による公共交通の利用促進を図ります。

■都市施設整備の基本方針

- ・通勤通学等によるバス利用者が多いことから、歩行空間の確保など、交通安全施設の充実を図ります。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・越前堰の改修を推進します。
- ・雫石川河川敷の有効活用を検討します。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・大釜駅を中心とした良好な居住環境整備を図るとともに、コンパクトな市街地の形成を図ります。
- ・農村地域と市街地の調和を図ります。



大釜地域の整備方針図

5-3. 篠木地域

都市づくりのテーマ

伝統的な文化を継承し、豊かな人材を育てる里 篠木

【地域整備方針】

大釜駅を中心とした市街地における、人口増加に対応した都市基盤の充実を図り、安心して暮らせる環境を整備します。また、歴史や文化などの地域資源を保存するとともに、これを活用した交流活動を図ります。

■土地利用の基本方針

- ・今ある市街地の充実を図るとともに、自然や田園とのバランスの取れた土地利用を図ります。

■交通体系整備の基本方針

- ・主要地方道盛岡環状線や大釜駅に接続する道路の充実、公共交通利用の向上を図ります。
- ・通学路を中心に道路環境の整備を図ります。

■都市施設整備の基本方針

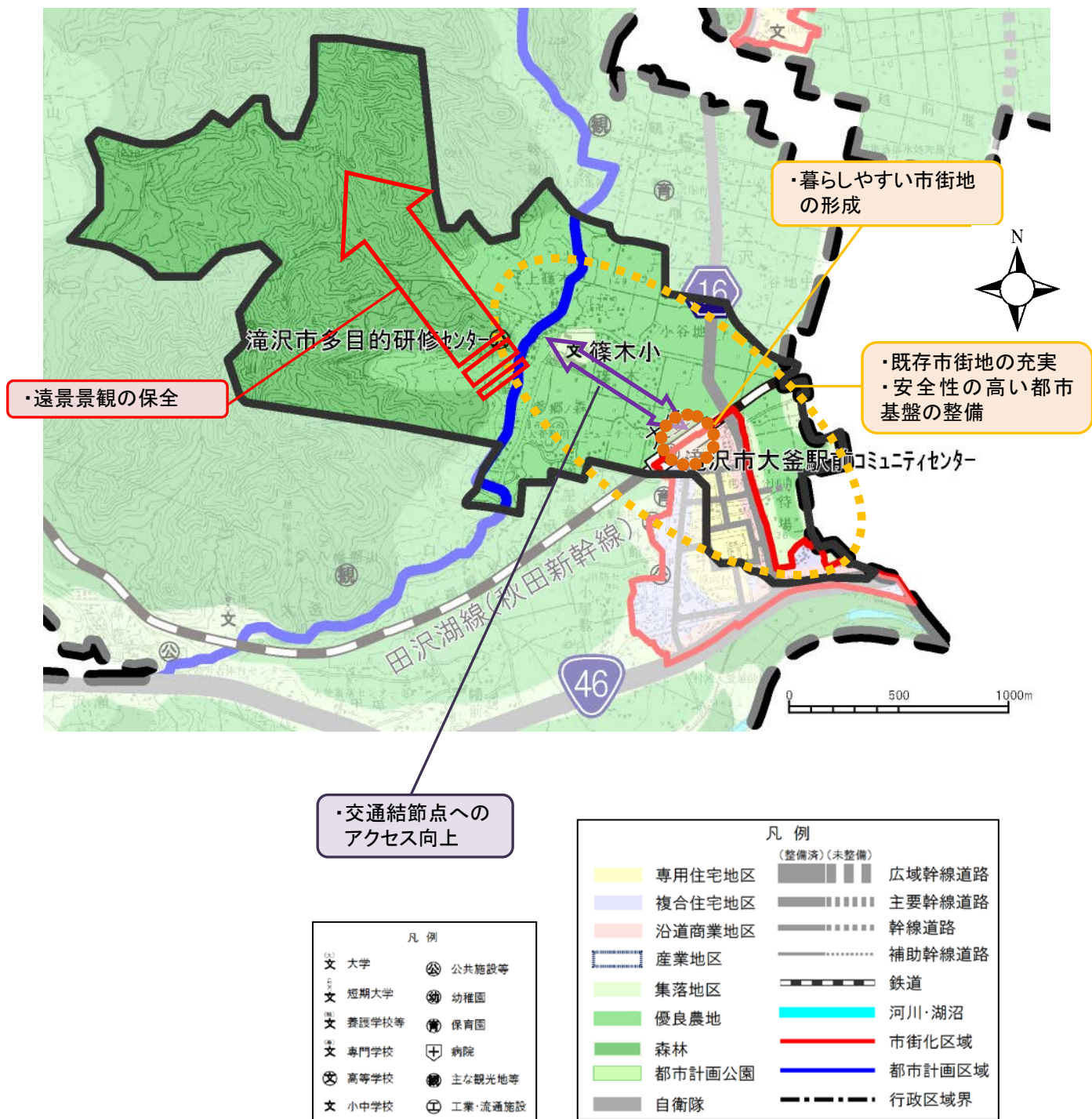
- ・安全面、防災面から歩行空間の確保など、子供や高齢者にも安全性の高い住宅地とします。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・岩手山を望む風景を守るため、景観形成協定など、市民間でのルール作りを検討します。
- ・越前堰を地域全体で守り、ホテルなど自然に親しめる環境保全を図ります。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・大釜駅を中心とした良好な居住環境整備を図るとともに、都市基盤整備や生活利便施設の充実を図ります。
- ・農村地域と市街地の調和を図ります。



篠木地域の整備方針図

5-4. 大沢地域

都市づくりのテーマ

豊かな田園風景や地域の持つ自然、歴史を大切に、多様な人々が真心でふれあう
やすらぎのある郷づくり 大沢

【地域整備方針】

主要地方道盛岡環状線や大沢集落センターを中心とした、安心して快適に暮らせる生活環境を整備します。また、昔ながらの田園風景や自然環境を保全しながら、地域内での活動を支える道路などの整備に取り組みます。

■土地利用の基本方針

- ・既存集落等の資源を維持し、集落と自然や田園とのバランスの取れた土地利用を図ります。

■交通体系整備の基本方針

- ・大釜駅や市役所周辺とのアクセスを確保するため、道路や公共交通を適切に配置し、生活利便性を高めます。

■都市施設整備の基本方針

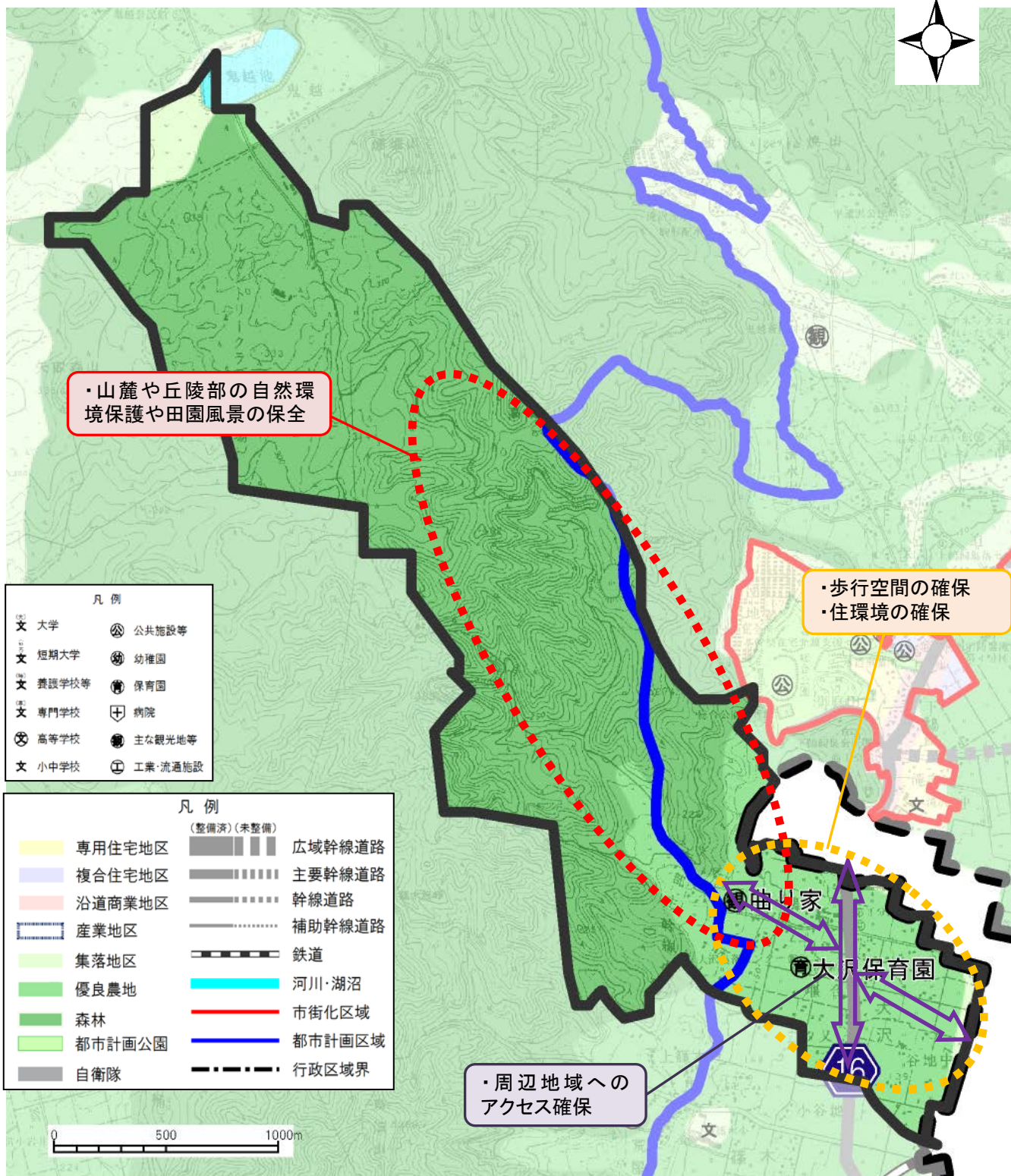
- ・子供や高齢者が安全に歩ける歩行空間を適切に配置します。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・山林や農地などの自然環境や景観の保全を図ります。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・地域コミュニティの交流を促進します。
- ・歴史ある地域の資源や伝統を保全・活用したまちづくりを図ります。



大沢地域の整備方針図

5-5. 鶺鴒地域

都市づくりのテーマ

チャグチャグ馬コ発祥の地として栄える、住みよく、活気にあふれるまち 鶺鴒

【地域整備方針】

市の中心として、各種都市機能を集約し、複合的な市街地の形成を図ります。

■土地利用の基本方針

- ・市役所を中心とした公共公益機能、日常生活サービスを提供する商業、業務、医療・社会福祉、教育の各機能の向上を図り拠点性を高めます。

■交通体系整備の基本方針

- ・交差点改良による混雑緩和や交通安全施設の設置により、他地域からのアクセス向上を図ります。
- ・バスや自転車の利用率が比較的高いことから、結節機能強化などを行い、より一層の利用促進を図ります。

■都市施設整備の基本方針

- ・交流拠点複合施設や滝沢総合公園を中心として、人が集えるたまり空間や安全安心で快適な歩行空間などを適切に配置します。
- ・効率的な汚水処理施設の整備を図ります。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・鬼越蒼前神社周辺の風景を保全するとともに、チャグチャグ馬コの歴史資源を有効に活用します。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・空き家の実態を把握し、良好な居住環境を形成するための方策を検討します。



・市役所周辺地域の中心拠点化
・たまり空間の確保

凡例

文 大学	公共施設等
文 短期大学	幼稚園
文 養護学校等	保育園
文 専門学校	病院
⊗ 高等学校	主な観光地等
文 小中学校	工業・流通施設

凡例

専用住宅地区	(整備済) (未整備)	広域幹線道路
複合住宅地区		主要幹線道路
沿道商業地区		幹線道路
産業地区		補助幹線道路
集落地区		鉄道
優良農地		河川・湖沼
森林		市街化区域
都市計画公園		都市計画区域
自衛隊		行政区域界

鵜飼地域の整備方針図

5-6. 姥屋敷地域

都市づくりのテーマ

健康をつくる白い牛乳、緑の野菜、住むならばお山のふところ 姥屋敷

【地域整備方針】

自然環境や小岩井農場を活用した農業体験等により、交流拡大や地域活性化を図ります。観光や保養を目的とした移動を支援するため、道路や公共交通、レクリエーション施設の整備を図ります。

■土地利用の基本方針

- ・今ある施設の有効活用を図ります。

■交通体系整備の基本方針

- ・鵜飼地域へのアクセスや通学、観光のための道路交通の機能確保を図ります。

■都市施設整備の基本方針

- ・春子谷地湿原やお山の湯などの自然環境を活用した、一体的利用を検討します。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・豊かな自然環境・資源の保全を行い、他地域からの眺望としての雄大な景観を保全・活用します。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・自然環境負荷が少ない住環境を構築します。



凡例		凡例	
文 大学	公共施設等	専用住宅地区	(整備済)(未整備) 広域幹線道路
文 短期大学	幼稚園	複合住宅地区	主要幹線道路
文 養護学校等	保育園	沿道商業地区	幹線道路
文 専門学校	病院	産業地区	補助幹線道路
文 高等学校	主な観光地等	集落地区	鉄道
文 小中学校	工業・流通施設	優良農地	河川・湖沼
		森林	市街化区域
		都市計画公園	都市計画区域
		自衛隊	行政区域界

姥屋敷地域の整備方針

5-7. 元村・室小路地域

都市づくりのテーマ

すこやかに安心して暮らせる 川と緑と名所を活かしたやすらぎのまち 元村
ささえあう 心はひとつ 室小路

【地域整備方針】

市街地周辺の田園風景や豊かな水資源を活用した、うるおいと安らぎのあるまちとします。また、新設スマート IC 整備を促進し、滝沢市の新たな玄関として、豊かな生活環境を形成します。

■土地利用の基本方針

- ・新設スマート IC 周辺において新たな産業の誘致による有効活用を図ります。
- ・日常生活の利便性確保のため、スーパー等の商業・サービス業を集積します。
- ・既存市街地内における低未利用地などの積極的な土地利用を図ります。
- ・大規模開発された土地における適正な土地利用を推進します。

■交通体系整備の基本方針

- ・各種学校や福祉施設などが多く立地していることから、通勤通学や高齢者等の移動手段の確保のため、バス交通の路線網・ダイヤの見直し等による公共交通の利用促進を図ります。

■都市施設整備の基本方針

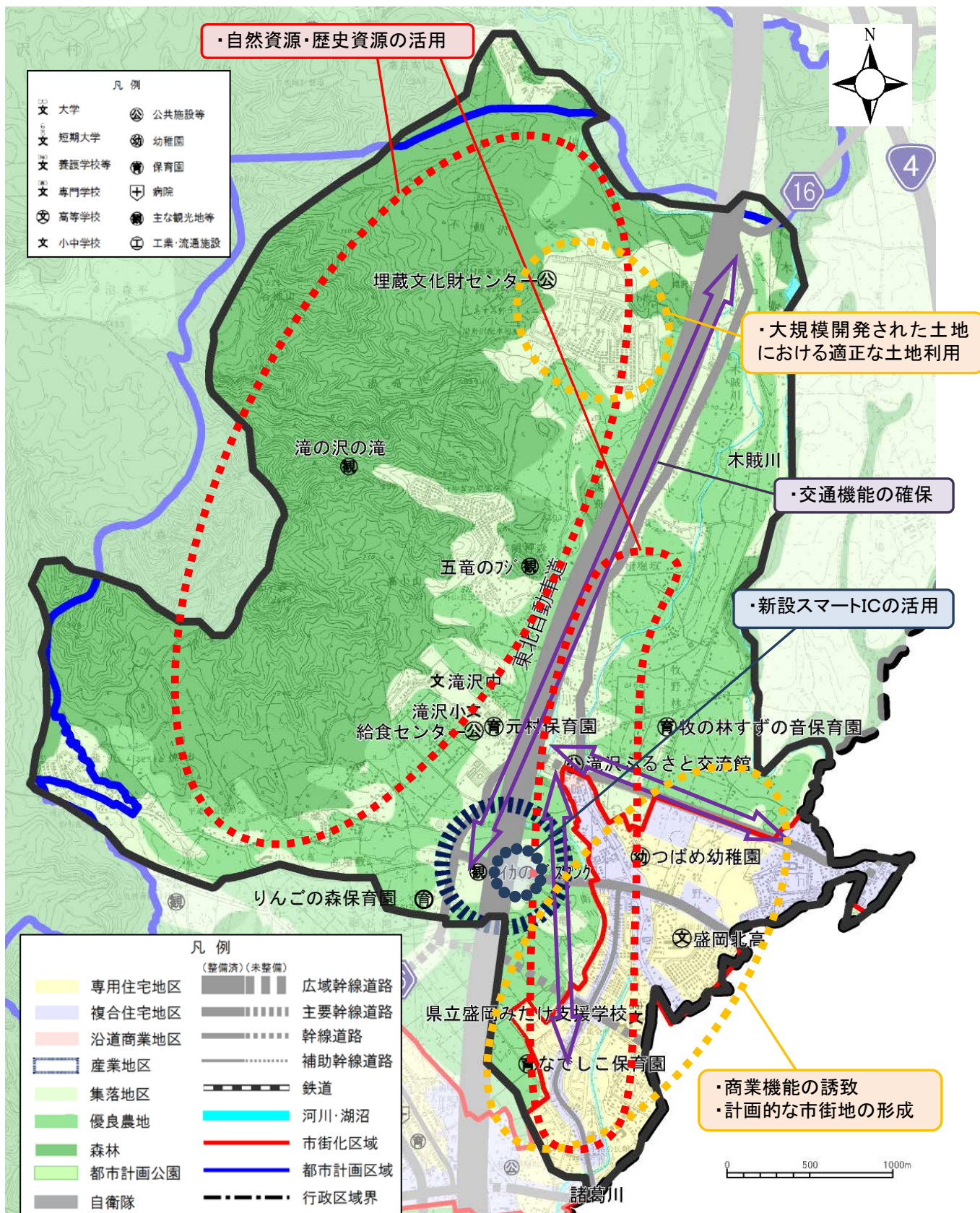
- ・新設スマート IC 周辺における産業拠点を形成するために必要な道路、上下水道等の整備を図ります。
- ・地域の安全確保のため、歩道整備など交通安全施設の充実を図ります。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・諸葛川、木賊川などの水資源の活用、森林、農地の保全、名所等の活用を図ります。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・市街地と周辺農地との調和を図ります。
- ・既存集落の良好な居住環境の形成を図ります。



元村・室小路地域の整備方針図

5-8. 東部地域

都市づくりのテーマ

世代を超え、住む人みんなで創る、ふれあいとゆとりの研究学園都市 東部

【地域整備方針】

滝沢駅と巣子駅を中心とし、地域における良好な生活基盤の充実と交通結節機能の強化を図ります。岩手県立大学周辺における産業と大学等の文教施設の交流により、地域や全市の活性化を促す地域環境を形成します。

■土地利用の基本方針

- ・集積した研究開発機能に加え、各種生活機能を適切に配置し、交通結節拠点の形成を図ります。
- ・IPU イノベーションセンター及びイノベーションパークと連携し、若者の就業の場を確保します。

■交通体系整備の基本方針

- ・滝沢駅や巣子駅の交通結節機能向上のため、路線バス、自動車、自転車などとの連携を図ります。
- ・歩道の設置を含めた道路環境の整備を図ります。

■都市施設整備の基本方針

- ・駅アクセスにおける歩行者、自転車の空間確保や道路網の充実を図ります。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・森林や農地を適切に保全するとともに、巣子川などを活用したうるおいのある環境づくりを図ります。
- ・建物の高さやデザイン、生け垣作り等に配慮する地域のルール作りを検討します。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・滝沢駅周辺や巣子駅周辺等の既存市街地における効果的な土地利用を検討することにより、住環境の向上を図ります。



5-9. 一本木地域

都市づくりのテーマ

岩手山麓に開き行く、みどりの里 一本木

【地域整備方針】

森林や集団農地の保全を図るとともに、国道 282 号のバイパス整備を促進します。既存集落周辺における住環境の改善や交通利便性向上による交流人口や定住人口の維持を図ります。

■土地利用の基本方針

- ・ 国道 282 号や一本木バイパス沿いを中心に、開発許可制度等の運用等による沿道サービスなどの有効活用を図ります。

■交通体系整備の基本方針

- ・ 一本木バイパスの整備を促進し、地域間交流の活発化を図ります。

■都市施設整備の基本方針

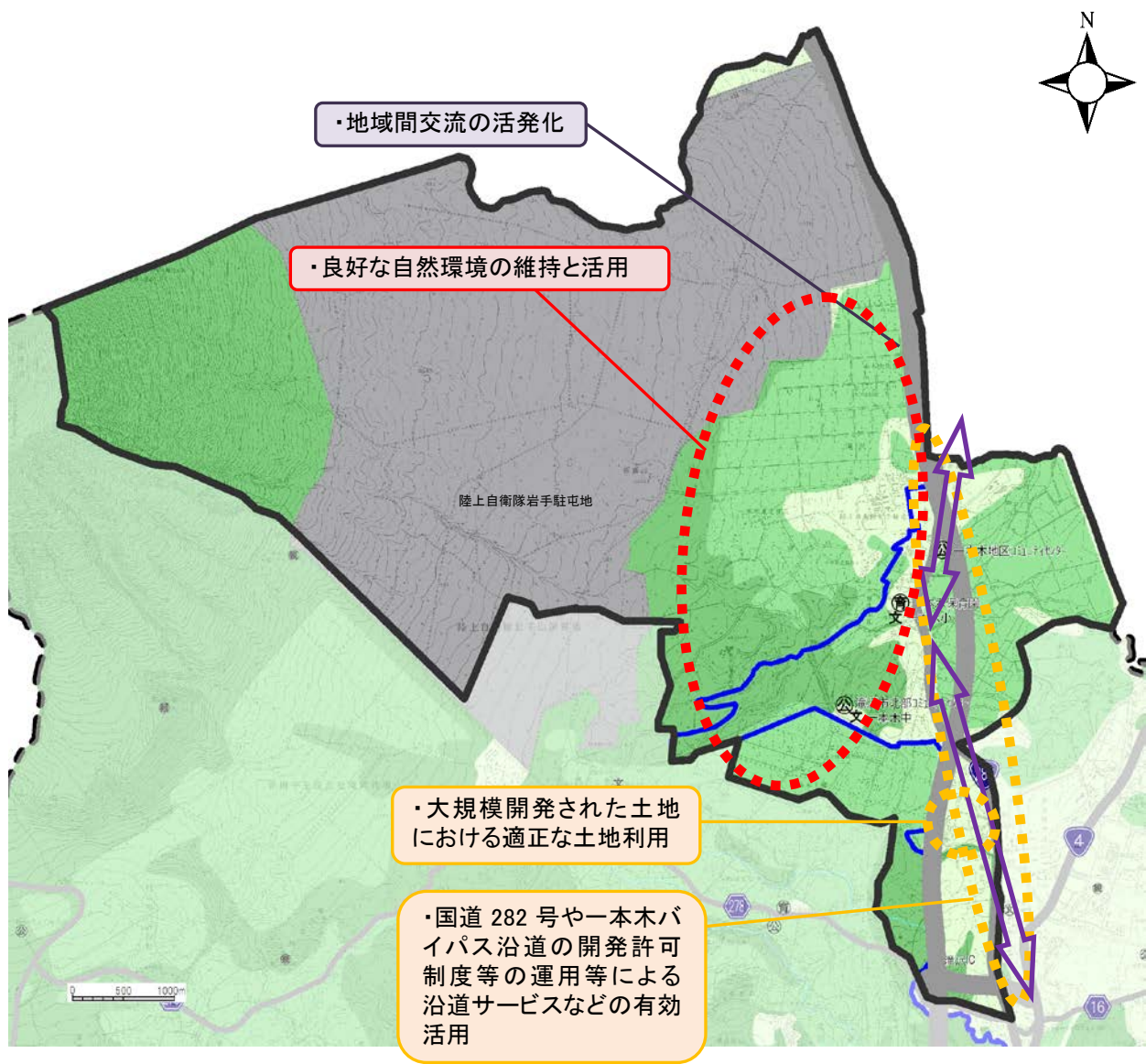
- ・ 大規模開発された一団の住宅地は、都市基盤の整備された良好な居住環境を維持するため、都市基盤の計画的な維持・更新を図ります。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・ 集団農地や森林を保全する一方、自然環境を活用したレクリエーションの場の充実を図ります。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・ 既存集落における交通安全施設の整備などによる良好な住環境の整備を図ります。
- ・ 自衛隊岩手駐屯地を含めた地域内交流を深めるため、環境の整備を図ります。
- ・ 汚水処理施設の整備を推進します。



凡例		凡例	
		(整備済) (未整備)	
文 大学	公共施設等	専用住宅地区	広域幹線道路
文 短期大学	幼稚園	複合住宅地区	主要幹線道路
文 養護学校等	保育園	沿道商業地区	幹線道路
文 専門学校	病院	産業地区	補助幹線道路
⊗ 高等学校	主な観光地等	集落地区	鉄道
文 小中学校	工業・流通施設	優良農地	河川・湖沼
		森林	市街化区域
		都市計画公園	都市計画区域
		自衛隊	行政区域界

一本木地域の整備方針図

5-10. 柳沢地域

都市づくりのテーマ

岩手山の麓で人々が集い、ほっとするふるさと森と酪農の柳沢

【地域整備方針】

農地や森林、岩手山などの豊かな自然や景観を保全しながら、山間型農村居住環境を形成します。自然とのふれあいを目的としたレクリエーション地域といった土地利用を図ることにより、交流人口の増加を目指します。

■土地利用の基本方針

- ・ 開発行為などに対して適切な指導を行うことにより、生活環境の維持保全を図ります。

■交通体系整備の基本方針

- ・ 通勤通学、高齢者等の移動手段や観光のため、バス交通の充実を図ります。

■都市施設整備の基本方針

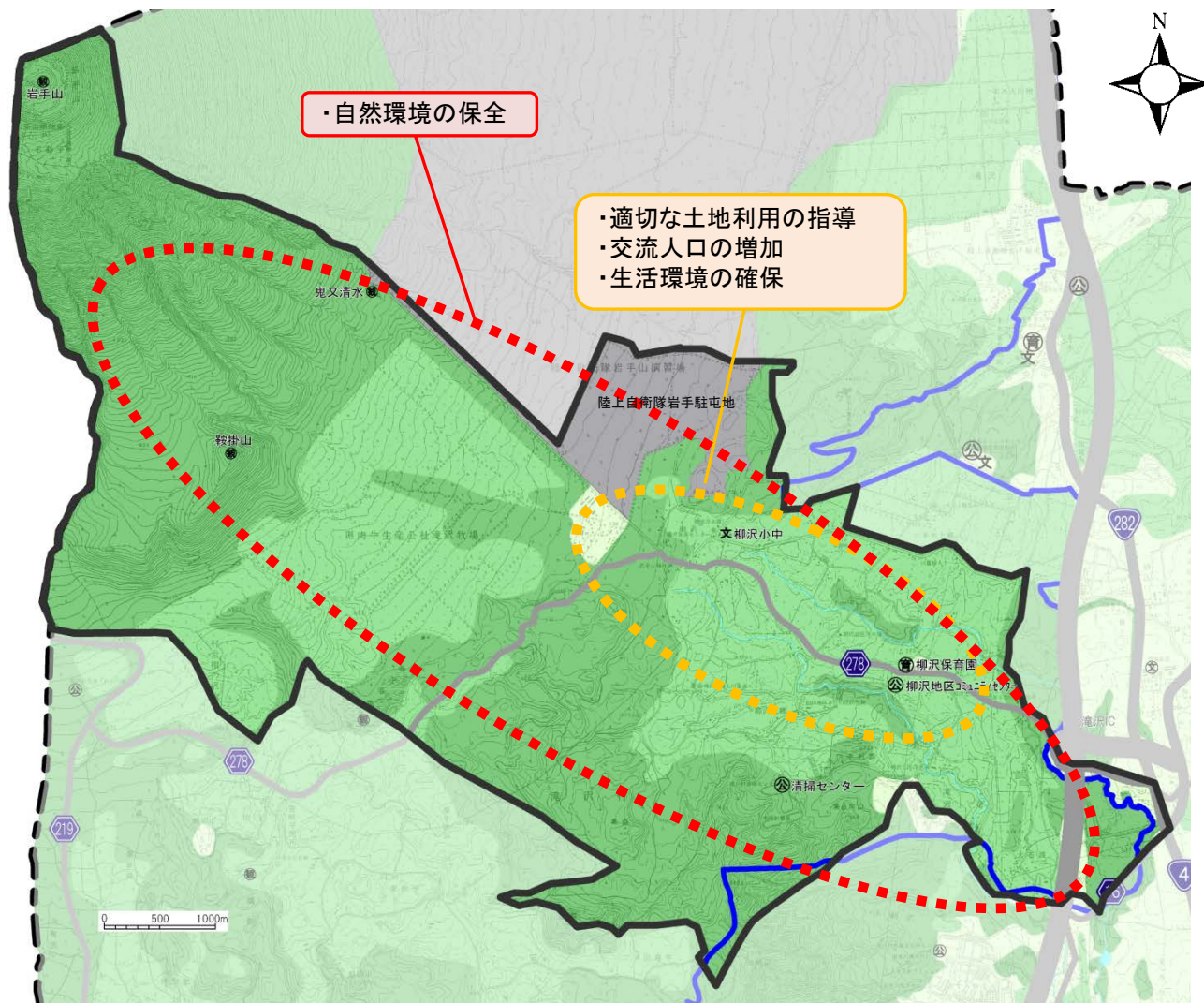
- ・ 地域資源を活用した魅力づくりにより、交流人口の増加を図ります。

■都市防災・景観・環境形成の基本方針

- ・ 岩手山や春子谷地湿原周辺の自然環境の保全を図ります。

■市街地・住宅整備の基本方針

- ・ 環境負荷を少なくした山間型農村住居環境を形成します。



・自然環境の保全

・適切な土地利用の指導
 ・交流人口の増加
 ・生活環境の確保

凡例	
文 大学	公共施設等
文 短期大学	幼稚園
文 養護学校等	保育園
文 専門学校	病院
⊗ 高等学校	主な観光地等
文 小中学校	工業・流通施設

凡例	
(整備済) (未整備)	
専用住宅地区	広域幹線道路
複合住宅地区	主要幹線道路
沿道商業地区	幹線道路
産業地区	補助幹線道路
集落地区	鉄道
優良農地	河川・湖沼
森林	市街化区域
都市計画公園	都市計画区域
自衛隊	行政区境界

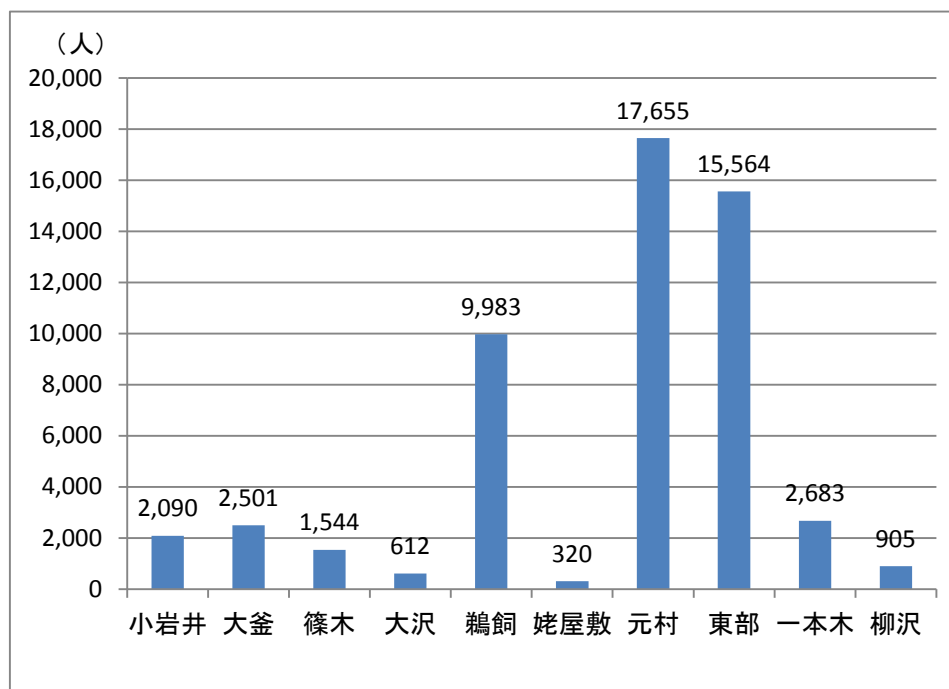
柳沢地域の整備方針図

5-11. 地域別比較

(1) 人口

- 元村地域（室小路地域含む）、東部地域、鶉飼地域の人口が多くなっています。
- 一方、姥屋敷地域、大沢地域、柳沢地域の人口は1,000人未満となっています。

	小岩井	大釜	篠木	大沢	鶉飼	姥屋敷	元村	東部	一本木	柳沢
H22人口	2,090	2,501	1,544	612	9,983	320	17,655	15,564	2,683	905



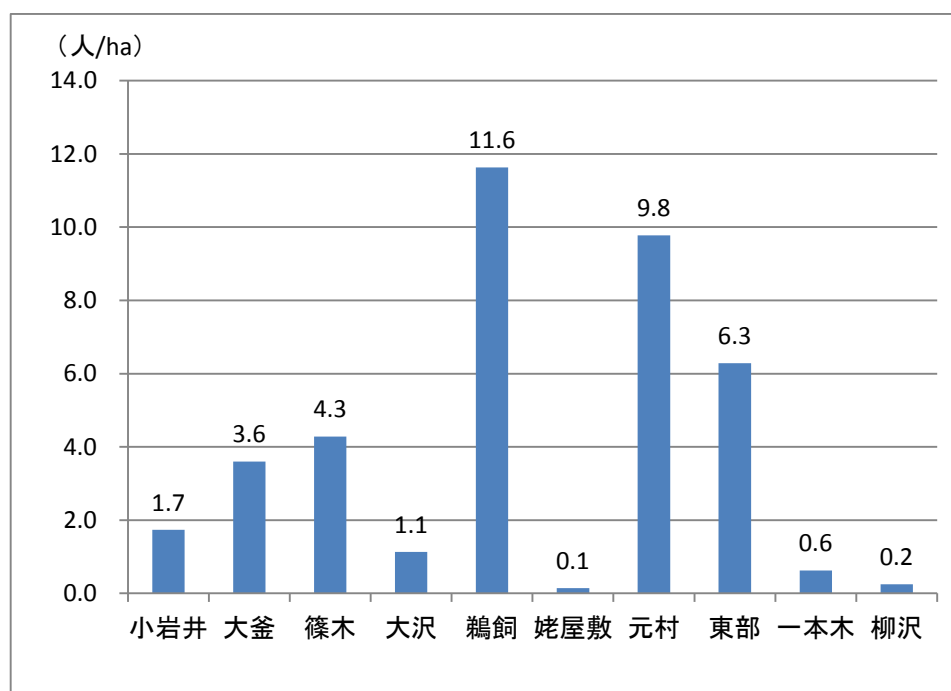
※元村地域には、室小路地域を含んでいます。

資料：H22 国勢調査

(2) 人口密度

- 鶺鴒地域の人口密度が最も多く、ついで元村地域（室小路地域含む）、東部地域となっています。
- 姥屋敷地域、柳沢地域、一本木地域の人口密度は1人/haを下回っています。

	小岩井	大釜	篠木	大沢	鶺鴒	姥屋敷	元村	東部	一本木	柳沢
H22人口密度 (人/ha)	1.7	3.6	4.3	1.1	11.6	0.1	9.8	6.3	0.6	0.2



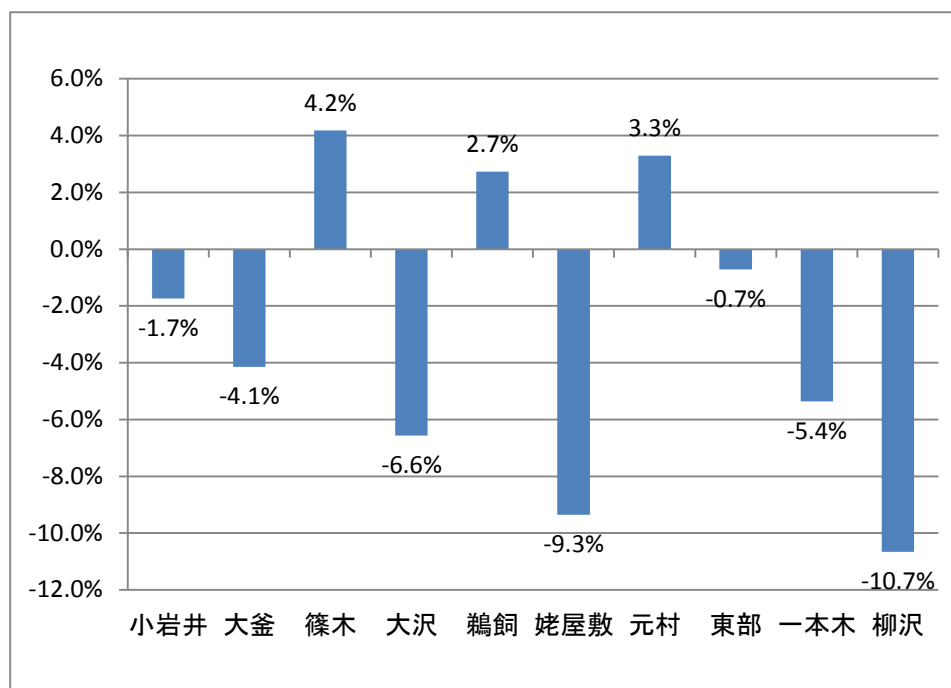
※元村地域には、室小路地域を含んでいます。

資料：H22 国勢調査・滝沢村統計書

(3) 人口増加率

- ・篠木地域、元村地域（室小路地域含む）、鶺鴒地域の人口増加率が高くなっています。
- ・柳沢地域や姥屋敷地域、大沢地域、一本木地域などが5%以上の減少となっています。

	小岩井	大釜	篠木	大沢	鶺鴒	姥屋敷	元村	東部	一本木	柳沢
H17-H22 人口増加率(%)	-1.7%	-4.1%	4.2%	-6.6%	2.7%	-9.3%	3.3%	-0.7%	-5.4%	-10.7%



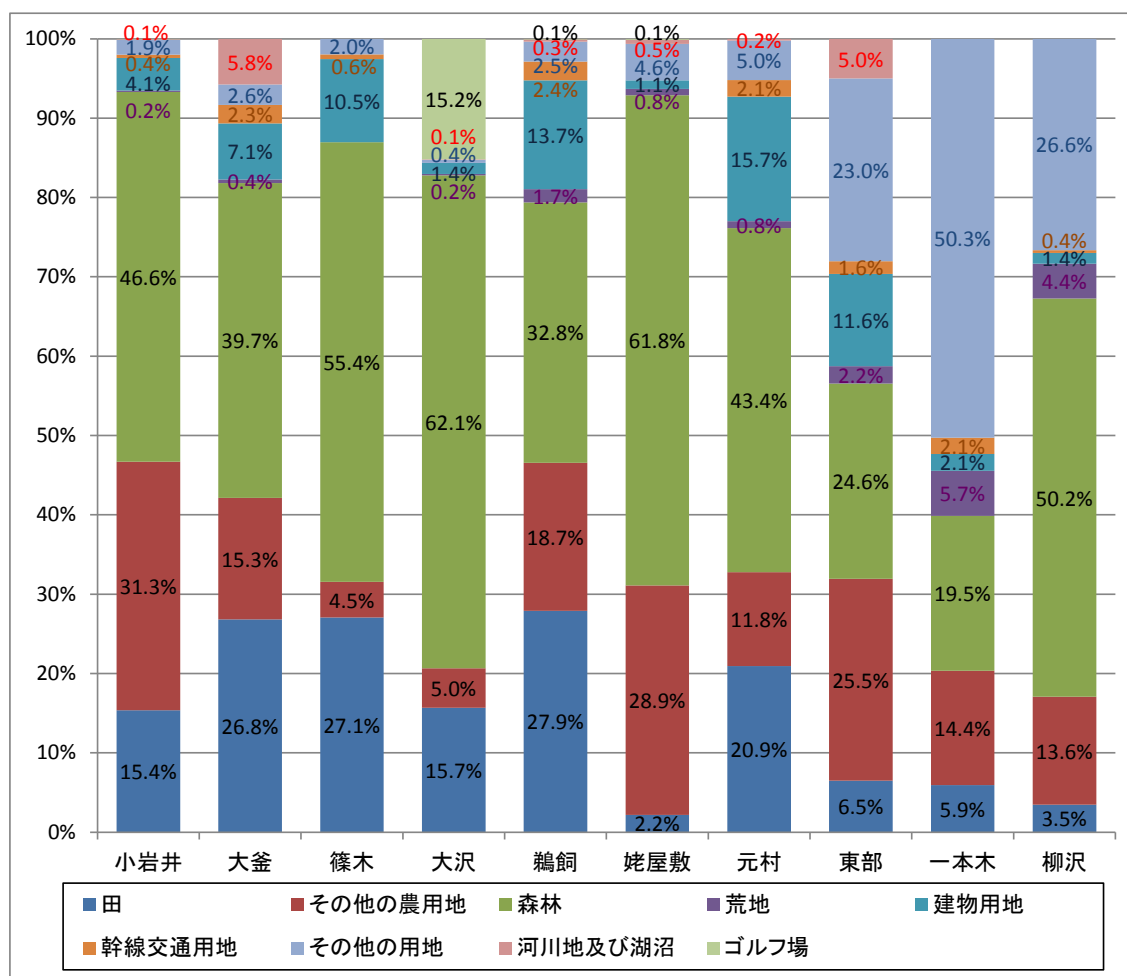
※元村地域には、室小路地域を含んでいます。

資料：H22 国勢調査・滝沢村統計書

(4) 土地利用現況

- ・人口集積が高い元村地域（室小路地域含む）や鵜飼地域では“建物用地”が多くなっています。
- ・大釜地域、篠木地域、鵜飼地域では“田”の割合が1/4以上を占めています。
- ・一方、小岩井地域、姥屋敷地域、東部地域では“その他の農地”が1/4以上を占めています。
- ・大沢地域、姥屋敷地域、柳沢地域では森林が1/2以上を占めています。
- ・一本木地域は約半分が“その他”陸上自衛隊岩手山中演習場が占めています。

	小岩井	大釜	篠木	大沢	鵜飼	姥屋敷	元村	東部	一本木	柳沢
田	15.4%	26.8%	27.1%	15.7%	27.9%	2.2%	20.9%	6.5%	5.9%	3.5%
その他の農用地	31.3%	15.3%	4.5%	5.0%	18.7%	28.9%	11.8%	25.5%	14.4%	13.6%
森林	46.6%	39.7%	55.4%	62.1%	32.8%	61.8%	43.4%	24.6%	19.5%	50.2%
荒地	0.2%	0.4%	0.0%	0.2%	1.7%	0.8%	0.8%	2.2%	5.7%	4.4%
建物用地	4.1%	7.1%	10.5%	1.4%	13.7%	1.1%	15.7%	11.6%	2.1%	1.4%
幹線交通用地	0.4%	2.3%	0.6%	0.0%	2.4%	0.0%	2.1%	1.6%	2.1%	0.4%
その他の用地	1.9%	2.6%	2.0%	0.4%	2.5%	4.6%	5.0%	23.0%	50.3%	26.6%
河川地及び湖沼	0.1%	5.8%	0.0%	0.1%	0.3%	0.5%	0.2%	5.0%	0.0%	0.0%
ゴルフ場	0.0%	0.0%	0.0%	15.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



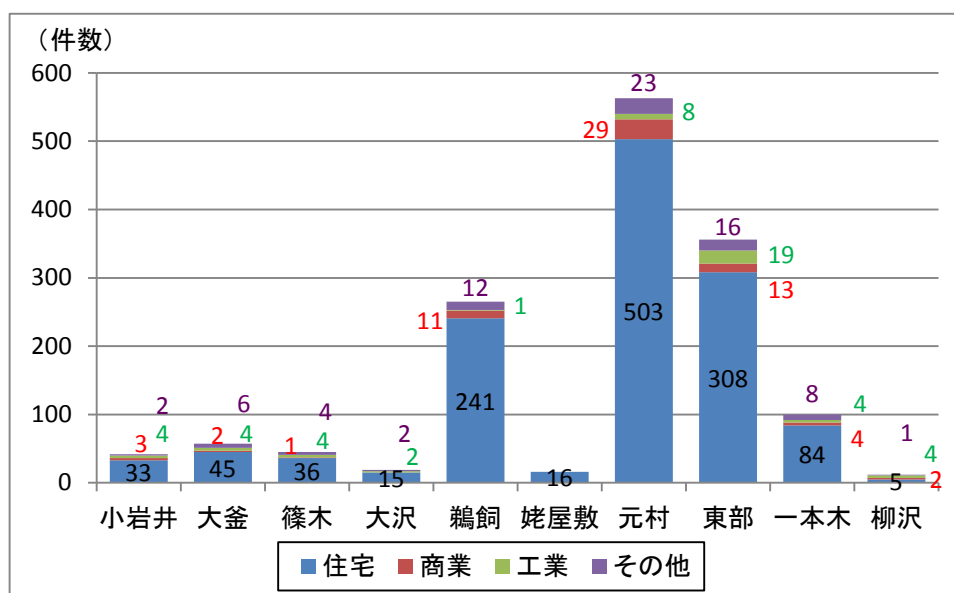
※元村地域には、室小路地域を含んでいます。

資料：H22 都市計画基礎調査

(5) 建築申請件数 (H17~H22)

- 建築申請件数が多いのは、元村地域（室小路地域含む）、東部地域、鶺鴒地域となっています。
- 住宅及び商業が最も多いのは元村地域（室小路地域含む）、工業が多いのは東部地域となっています。
- 建築申請件数が少ないのは柳沢地域、姥屋敷地域、大沢地域となっています。

	小岩井	大釜	篠木	大沢	鶺鴒	姥屋敷	元村	東部	一本木	柳沢
住宅	33	45	36	15	241	16	503	308	84	5
商業	3	2	1	0	11	0	29	13	4	2
工業	4	4	4	2	1	0	8	19	4	4
その他	2	6	4	2	12	0	23	16	8	1
計	42	57	45	19	265	16	563	356	100	12



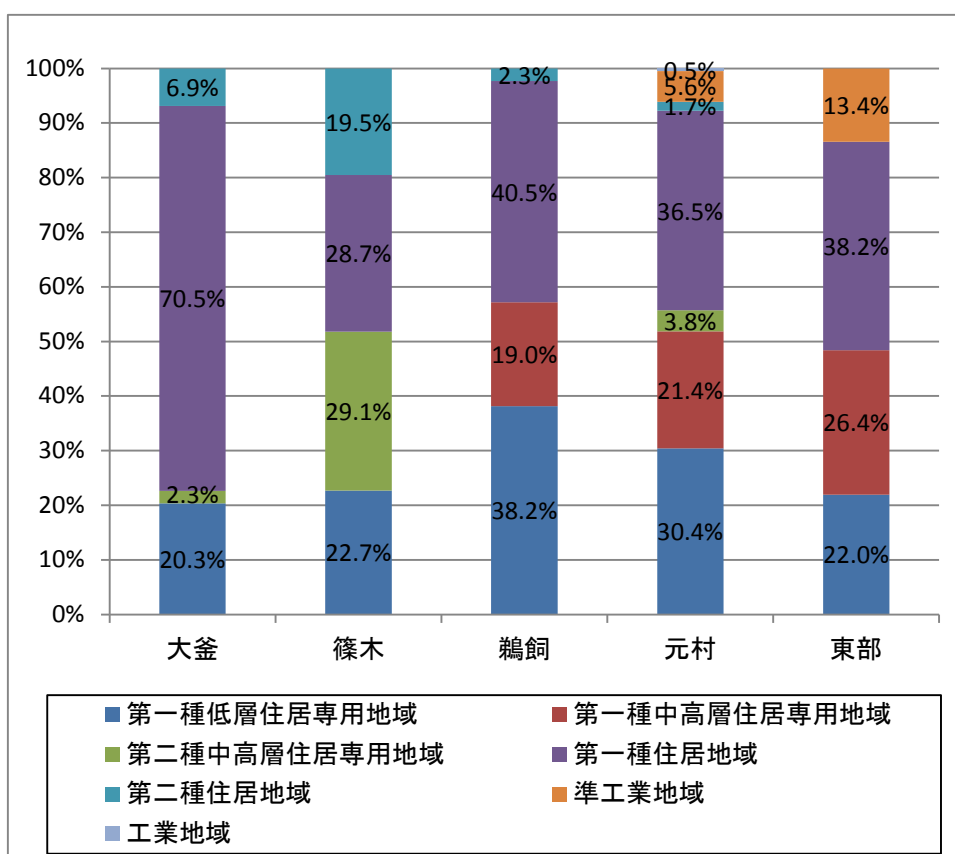
※元村地域には、室小路地域を含んでいます。

資料：H22 都市計画基礎調査

(6) 用途地域

- ・ 鶺鴒地域や元村地域（室小路地域含む）は“第一種低層住居専用地域”が多くなっています。
- ・ 篠木地域や東部地域は“第一種中高層住居専用地域”、“第二種中高層住居専用地域”といった中高層住居専用地域の指定が多くなっています。
- ・ 大釜地域は“第一種住居地域”、“第二種住居地域”といった住居地域が多くなっています。
- ・ 工業系用途は元村地域と東部地域に指定されています。
- ・ 商業系用途の指定はありません。

	大釜	篠木	鶺鴒	元村	東部
第一種低層住居専用地域	20.3%	22.7%	38.2%	30.4%	22.0%
第一種中高層住居専用地域	0.0%	0.0%	19.0%	21.4%	26.4%
第二種中高層住居専用地域	2.3%	29.1%	0.0%	3.8%	0.0%
第一種住居地域	70.5%	28.7%	40.5%	36.5%	38.2%
第二種住居地域	6.9%	19.5%	2.3%	1.7%	0.0%
準工業地域	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	13.4%
工業地域	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%



※元村地域には、室小路地域を含んでいます。

資料：平成 23 年度 滝沢村まちづくり検討業務